



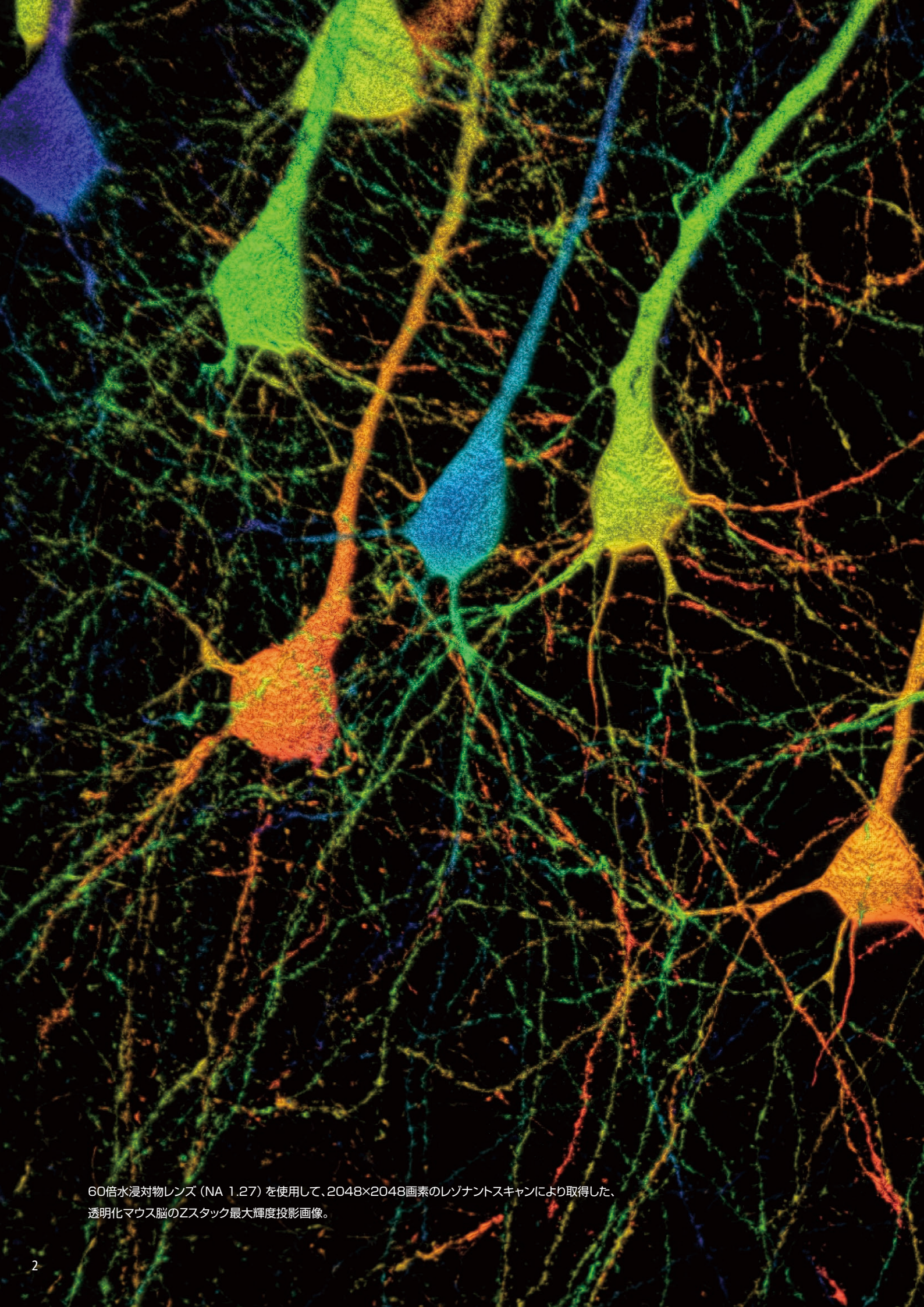
共焦点レーザー顕微鏡システム AX/AX R

AX AX R

共焦点レーザー顕微鏡システム



Shedding New Light On **MICROSCOPY**



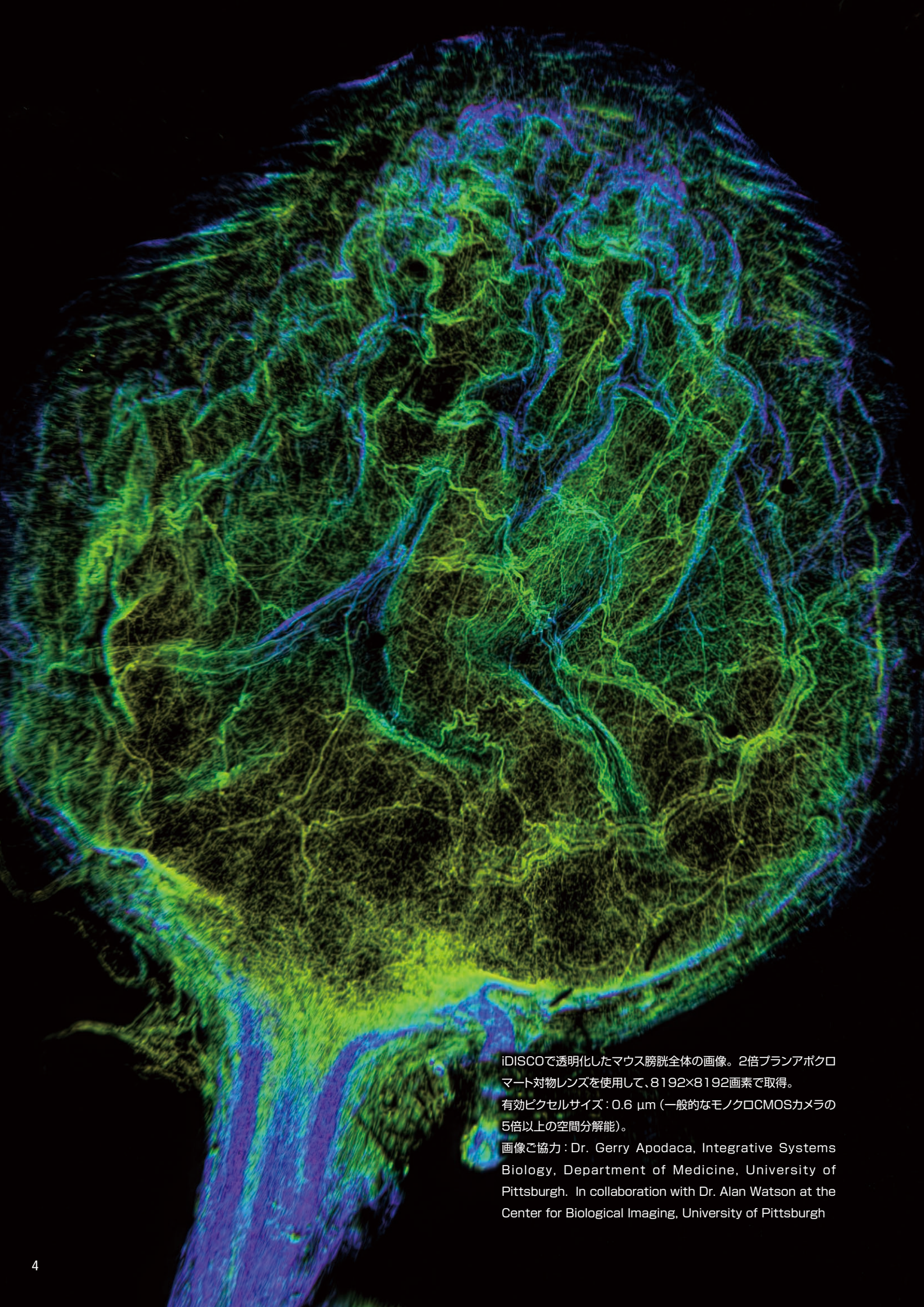
60倍水浸対物レンズ (NA 1.27) を使用して、2048×2048画素のレゾナントスキャンにより取得した、
透明化マウス脳のZスタック最大輝度投影画像。



Improving on Perfection

ニコンの第10世代共焦点レーザー顕微鏡システムAX/AX Rは、ピクセル解像度と感度が飛躍的に向上。かつてない解像度と明るさで正確な情報が取得できるうえ、広視野かつ細胞への侵襲を抑えたイメージングを実現し、新たな生物学的発見をサポートします。さらに、人工知能（AI）をベースとした使いやすく機能豊富な解析ソフトウェアを装備し、幅広いユーザーのニーズに対応が可能です。進化を極めたAX/AX Rは、生命科学研究だけでなく創薬や素材開発などの産業分野においても、実験の可能性を拡大するとともに、より信頼性の高いデータ取得に貢献します。

Nikon AX is the new standard in confocal imaging



iDISCOで透明化したマウス膀胱全体の画像。2倍プランアポクロ
マート対物レンズを使用して、8192×8192画素で取得。
有効ピクセルサイズ：0.6 μm （一般的なモノクロCMOSカメラの
5倍以上の空間分解能）。

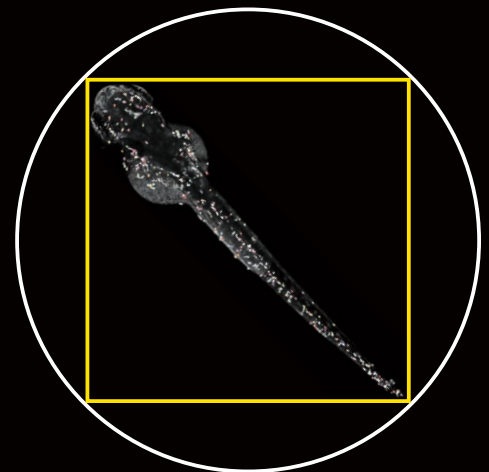
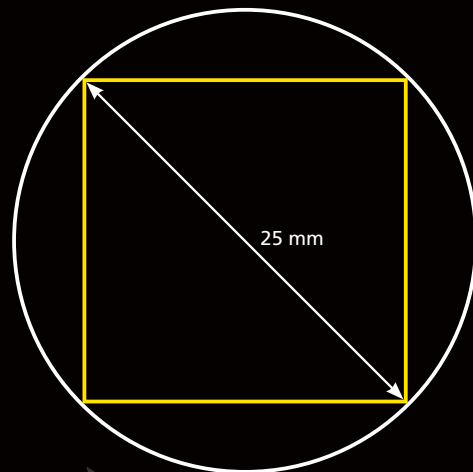
画像ご協力：Dr. Gerry Apodaca, Integrative Systems
Biology, Department of Medicine, University of
Pittsburgh. In collaboration with Dr. Alan Watson at the
Center for Biological Imaging, University of Pittsburgh

広視野イメージングで、 より多くの情報をキャッチ

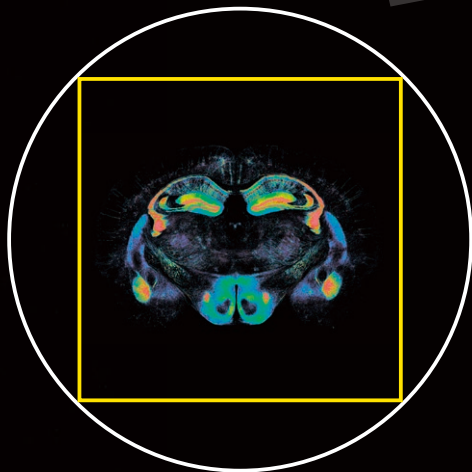
AX/AX Rは、業界随一の広視野（対角25 mm）を、倒立顕微鏡と正立顕微鏡の双方において実現。加えて、最大8192×8192画素を有する高解像度の画像が取得可能です。低倍率の対物レンズを使用した撮影においても、詳細な構造情報を捉えることができます。これにより、組織切片などの大型標本の全景や広範囲にわたる細胞の反応も、単一の画像において高速かつ高解像度で取得が可能となります。

AX/AX RのFOVは、共焦点顕微鏡としては最大*の25 mmです。

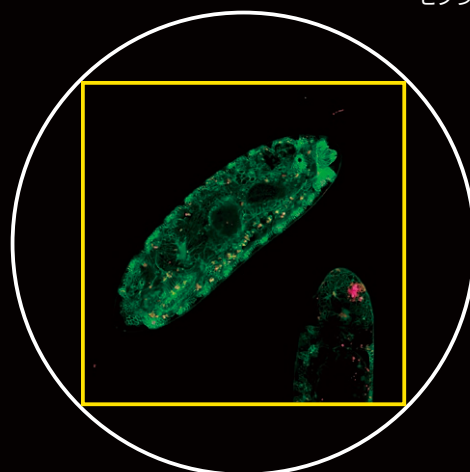
*2021年4月現在、当社調べ



4倍対物レンズを使用して、
ゼブラフィッシュの2日胚を取得



1倍プランアクロマート対物レンズを使用して、
透明化した成体マウス脳を、1回のスキャンにより
1視野内で取得



高NA 25倍シリコン浸対物レンズ (NA 1.1) を使用して、
ショウジョウバエの胚の発生を1視野内で取得

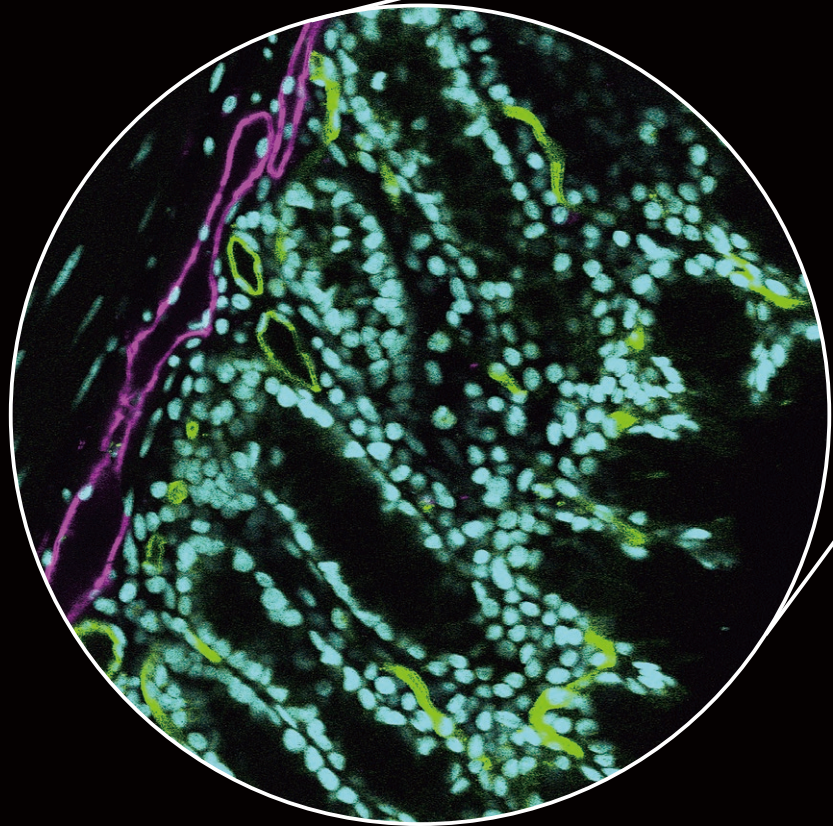
これほどの高解像度で、広範囲のサンプルを1視野内で捉えられる共焦点顕微鏡は、ニコンAX/AX Rのほかにはありません。

生細胞にやさしい 高速イメージング

AX Rのレゾナントスキャナーは、最速で毎秒720フレーム(2048×16画素)の高速取得が可能です。ライブセルイメージングや*in vivo*イメージングなど、生きたサンプルの形態変化や刺激反応を逃さずに捉えることができます。

また、短時間で撮影することにより、レーザーの照射時間の短縮を実現。タイムラプスやZスタックなどを組み合わせた多次元イメージングにおいても、励起光による光毒性を抑え、サンプルの退色を低減します。

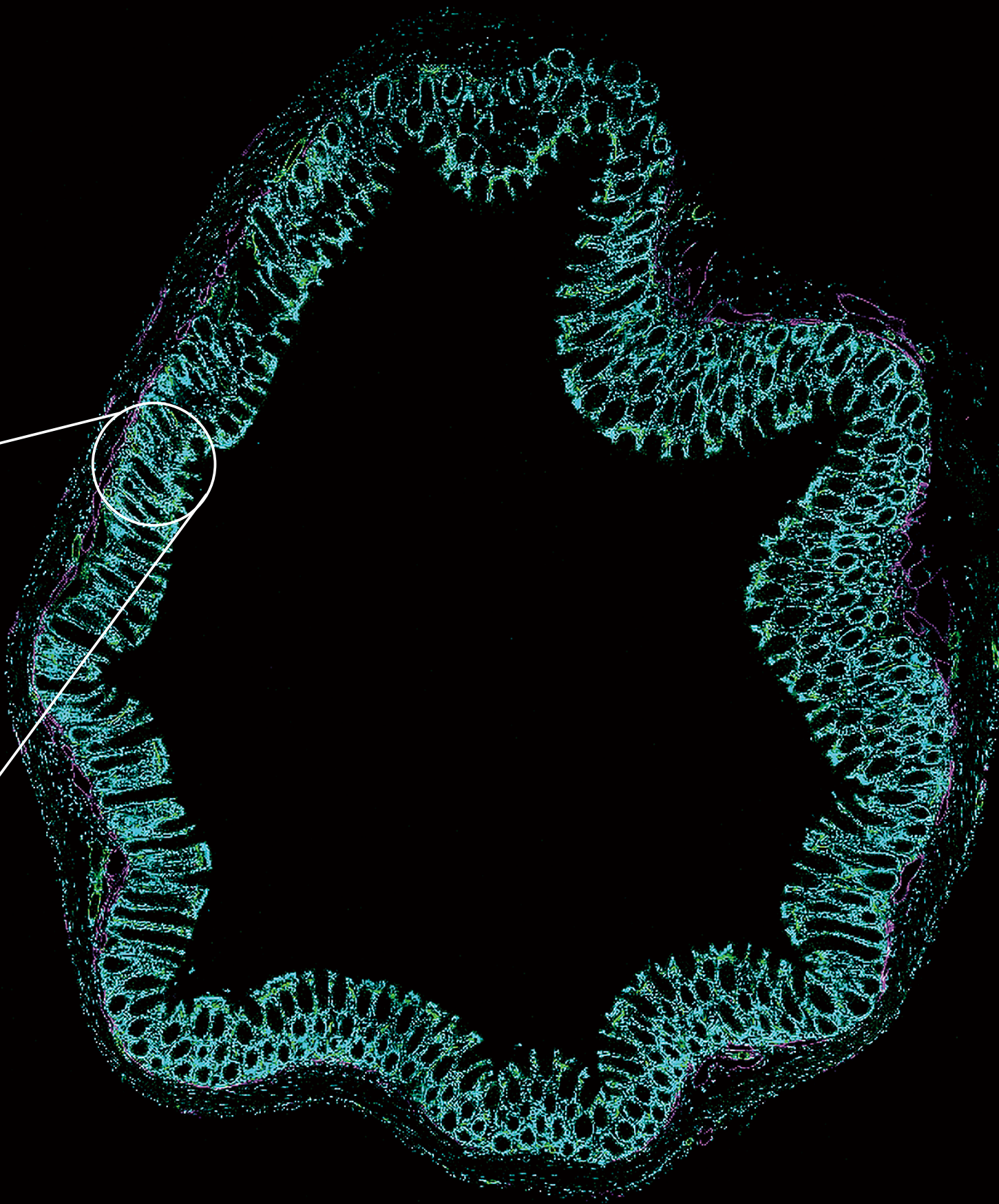
AX/AX Rのガルバノスキャナーも、FOV25の広視野において、従来機比1.5倍となる毎秒2フレーム(512×512画素、往復スキャン、1倍ズーム)の高速取得を実現しました。



PLC-PH::GFP (PIP2) を発現する発生中のショウジョウバエ胚のタイムラプスZスタック最大輝度投影画像。25倍シリコン浸対物レンズを使用して、2Kx1K画素で、10分ごとに12時間取得。

画像ご協力: Yang Hong Laboratory, Department of Cell Biology, University of Pittsburgh in collaboration with the Center for Biological Imaging

高解像な3次元画像を取得する共焦点顕微鏡は、一般的に画像の取得速度が遅くなりがちです。AX Rに搭載の高速レゾナントスキャナーを使用することで、取得時間の大幅な短縮が可能です。

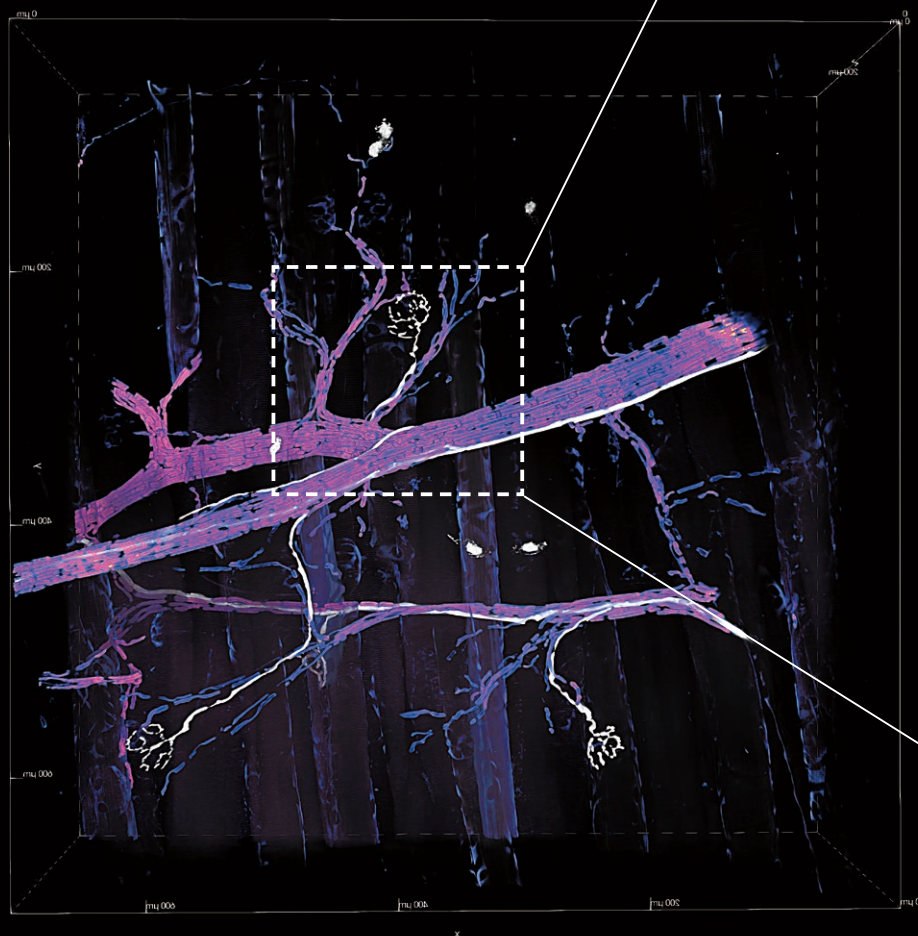


2048×2048画素のレゾナントスキャンと25 mmのFOVを利用して、大腸サンプルの高解像度画像を25枚取得し、2分以内に合成。

構造の理解を支える 高解像度イメージング

細胞や組織をミクロンオーダーで可視化する共焦点レーザー顕微鏡システム。その高い解像度をさらに向上させ、AX/AX Rのガルバノスキャナーは、従来機比4倍の8K×8K (8192×8192画素)の画像取得を実現しました。FOV25との組み合わせで、サンプルの構造を広範囲に高解像度で観察できます。

AX Rのレゾナントスキャナーも、従来機比4倍となる2K×2K (2048×2048画素)の取得を達成。生体サンプルの高速変化を、細部まで正確に捉えることが可能です。



発生中のゼブラフィッシュにおけるミクログリア動態のZスタック3次元再構築画像。

高速レゾナントスキャンとピエゾZステップにより取得。(深度ごとに色分け)

画像ご協力: Dr. E. Burton, Department of Neurology, University of Pittsburgh



マウスの筋肉を、25倍シリコーン浸対物レンズを使用して、
2048×2048画素のレゾナントスキャンにより取得。

柔軟性に優れた高感度ディテクター

AX/AX Rの高感度ディテクターユニットは、バックグラウンドシグナルを最小限に抑え、蛍光を確実に捉えることが可能です。

新開発のディテクターユニットDUX-VBは、検出波長帯域を連続的にカスタム調整できるため、実験に使用する蛍光標識や蛍光プローブの選択肢が広がります。画像統合ソフトウェアNIS-Elementsで色素名を選択するだけで、最適な励起レーザーやダイクロイックミラー、画像取得シーケンスが自動でセットアップ可能です。スペクトル画像は最大66色まで取得でき、色素同士のクロストークや自家蛍光のオーバーラップをアンミキシングで除去できます。

スタンダードタイプのディテクターユニットDUX-STは、12個のバンドパスフィルターが搭載可能です。さらに18個まで拡張できるため、幅広いユーザーニーズに対応します。

DUX-VB、DUX-STともに、2チャンネルまたは4チャンネルの構成が選択できます。PMTはモジュール式のため、高感度GaAsP PMTユニットまたはマルチアルカリPMTユニットを、目的に合わせて任意に組み合わせ可能です。

マーマセット脳のZスタック最大輝度投影画像。検出波長域をユーザー定義可能なDUX-VBディテクターユニットと、60倍水浸対物レンズ (NA 1.27) を使用して、2048×2048画素のレゾナントスキャンにより取得。

共焦点イメージングを支える 対物レンズ

共焦点イメージングの可能性を拓げる、高性能な対物レンズを幅広くラインナップ。ニコンのCFI60/CFI75無限遠補正光学系の対物レンズは、さまざまな倍率、作動距離、開口数、液浸タイプの選択肢を取り揃え、多種多様なサンプルの観察に対応します。中でもLambda S対物レンズシリーズは、広範囲な波長域における優れた色収差補正と、ナノクリスタルコートによる高い透過率を実現。微弱な蛍光も確実に捉え、多色共焦点イメージングにおいても、明るく正確な情報が取得可能です。



CFI プランアポクロマート Lambda S
25XC Sil/40XC Sil

屈折率が1.4に近い標本をイメージングする際に、シリコンオイルを浸液に使用することで、厚みのあるサンプルも球面収差を抑えた鮮明な画像が取得できます。



CFI アポクロマート LWD Lambda S
20XC WI/40X WI

可視域から近赤外域にわたる広い波長範囲において、色収差を良好に補正。長作動距離に加えて、高い開口数を実現し、厚みのある生体サンプルのイメージングに威力を発揮します。



CFI プランアポクロマート Lambda S 10X

FOV25の広視野の周辺部まで良好に収差を補正。大型サンプルの組織全体を撮像素子の大きなカメラで取得する場合でも、シャープな像が得られます。広い波長範囲における色収差補正にも優れています。



CFI プランアポクロマート VC 60XC WI

標本深部までクリアな像が取得可能な水浸対物レンズです。短波長側における色収差補正に優れ、多色共焦点イメージングに最適です。

マウス耳部の固定標本 白：神経、赤：血管
撮像条件：ガルバノスキャンモード 解像度：8K
画像ご協力：大阪大学大学院医学系研究科/生命機能研究科
免疫細胞生物学 粟生智香 先生、石井優 教授



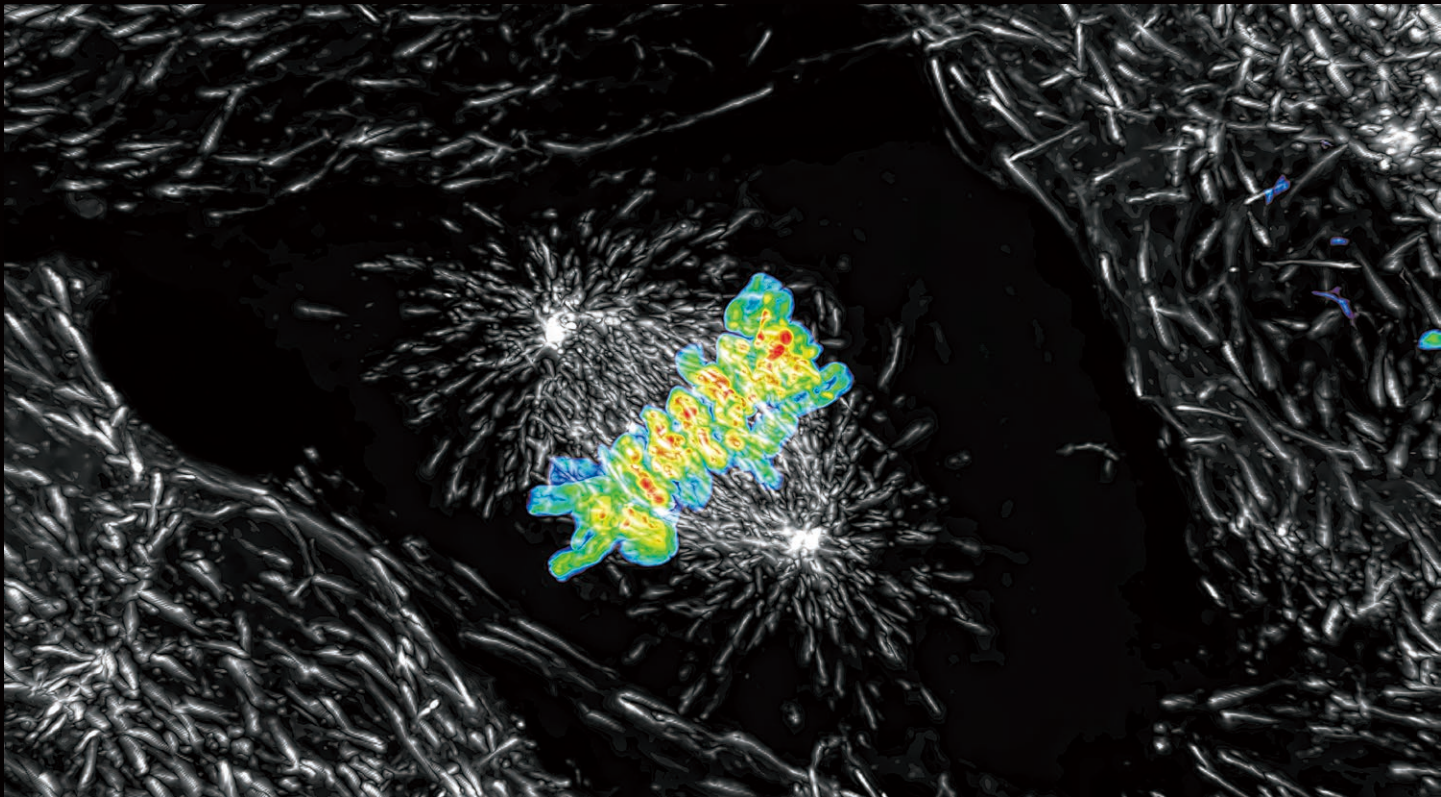
画像統合ソフトウェア NIS-Elements

画像統合ソフトウェアNIS-Elementsは、共焦点デバイスだけでなく、顕微鏡や周辺機器を制御できます。共焦点イメージングに求められる各種機能に加え、画像解析をサポートするAIツールや、解析ワークフローのカスタマイズが可能なオプションモジュールを豊富に揃えています。



微細な構造の観察に

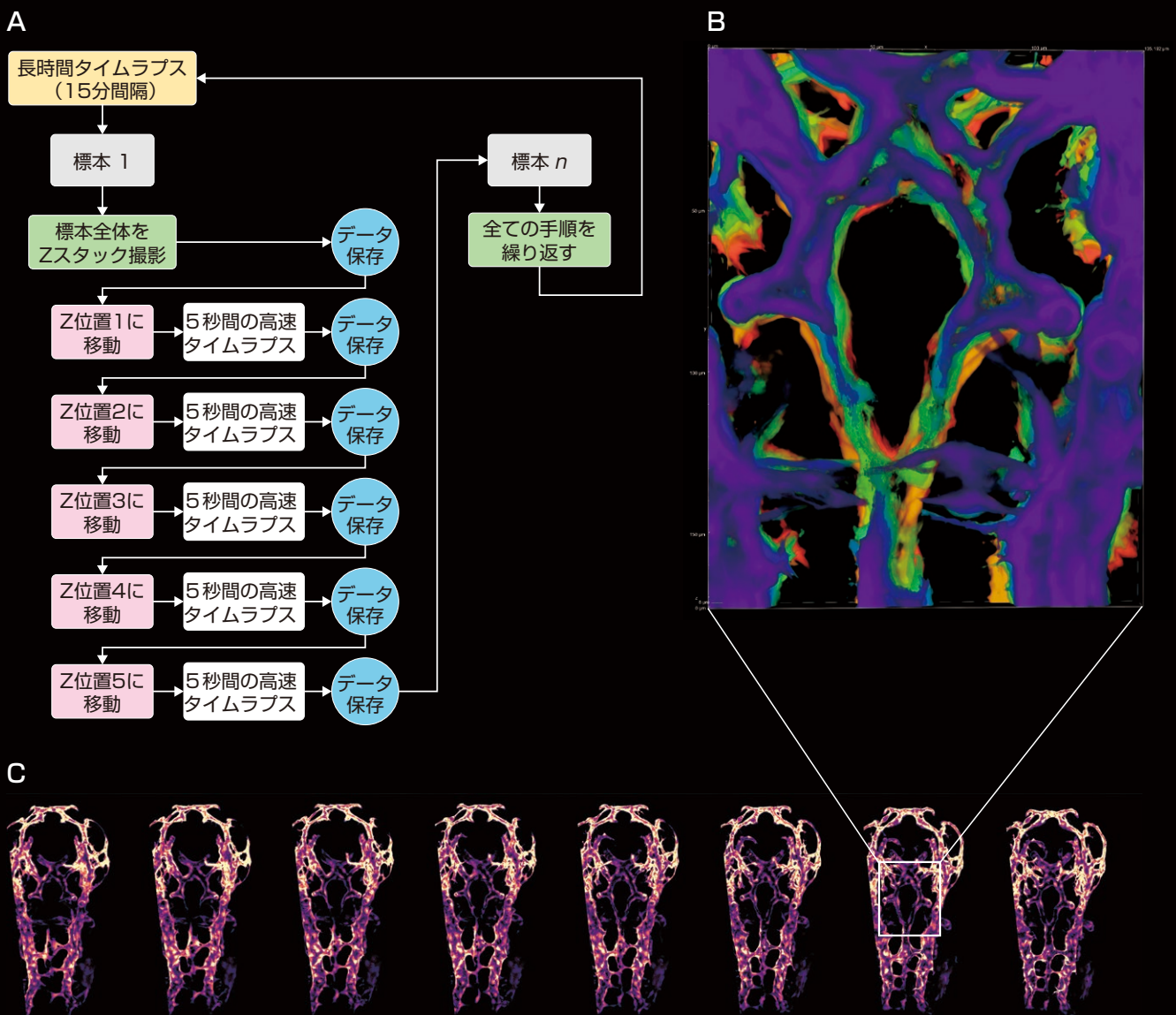
NIS-Elements C-ERは、共焦点イメージングの空間分解能をXY方向に約120 nm、Z方向に約300 nmまで向上することが可能なため、かつてない高解像度の共焦点画像が取得できます。



生体サンプルのZスタック最大輝度投影画像。60倍プランアポクロマート油浸対物レンズ (NA 1.4) を使用して、C-ERを適用し、2048×1024画素のレゾナントスキャンにより毎秒15フレームで取得。

イメージングフローをカスタムデザイン

NIS-ElementsのJOBSは、顕微鏡制御や画像取得、画像処理、外部機器制御など、NIS-Elementsの独立した機能を組み合わせ、ユーザー独自のイメージングフローを作成することができます。機能アイコンをドラッグアンドドロップでカスケード状に配置するだけで、プログラミングの専門知識は不要です。JOBSウィザードを使用すれば複雑な作業も簡単に進めることができるため、初心者にも使い易く、ルーチンワークの効率化も可能です。



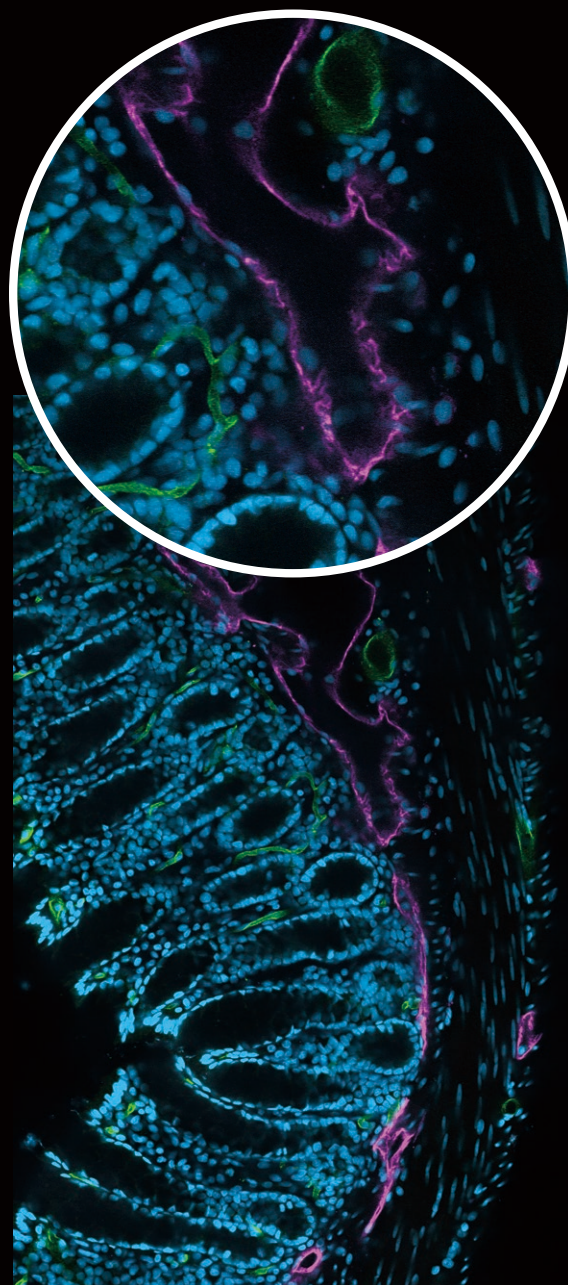
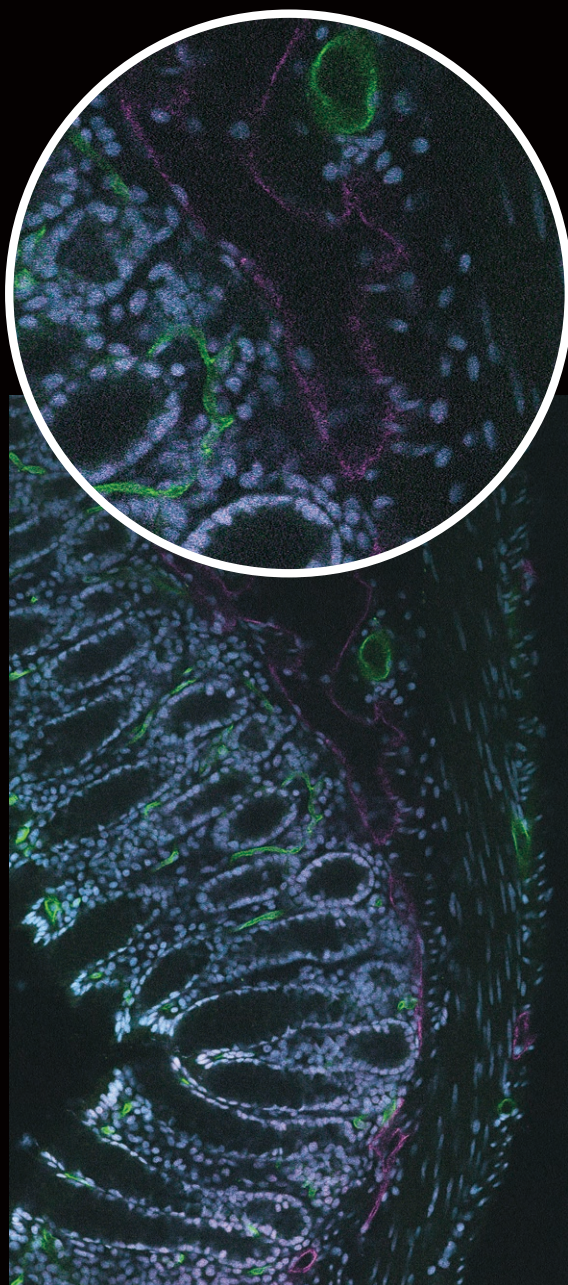
ゼブラフィッシュの血管発生のタイムラプス画像。25倍シリコーン浸対物レンズを使用して、2048×1024画素のレゾナントスキャンにより取得。

(A) 上記のJOBS実験プロトコル

(B) 血管発生の拡大図。重ね合わせた色はそれぞれ異なる時間を表す

(C) 進行する実験の各時点における、視野全体のZスタック画像の最大輝度投影

画像ご協力：Erika Driekorn and Dr. Beth Roman, Department of Human Genetics, University of Pittsburgh Graduate School of Public Health



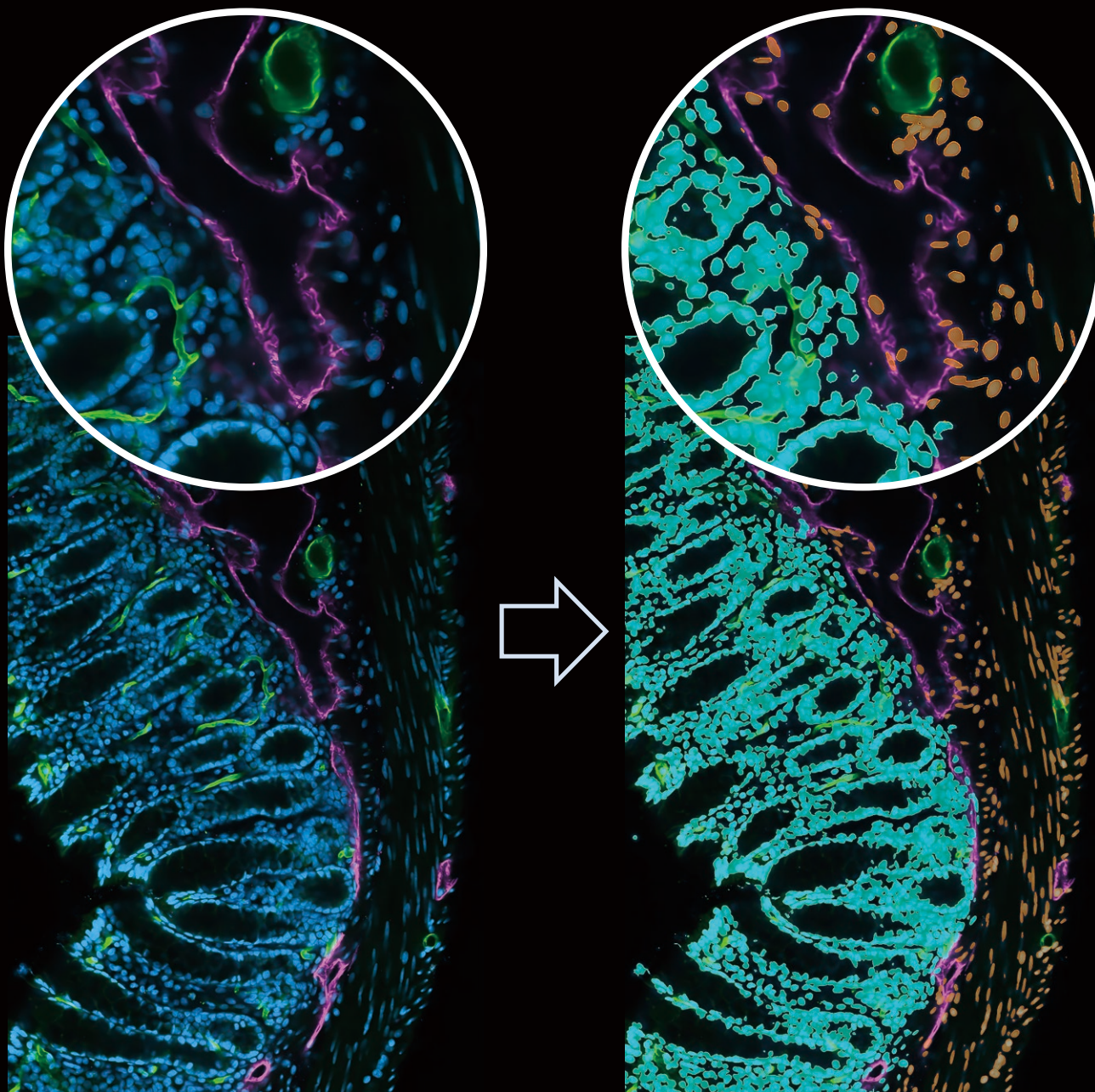
撮影開始

生命現象を正確に捉えて画像から有効な情報を得るためには、ノイズや退色、光毒性を最小限に抑えるための各種パラメータを、試行錯誤しながら微調整する必要があります。NIS-Elementsに搭載したNIS.aiは、AI機能によりこれらの調整をサポートします。

Autosignal.ai

Autosignal.aiは、サンプルの観察に最適な励起レーザー強度やゲインを、自動的に特定して設定します。ユーザーが最適な設定を手動で試行錯誤する必要がないため、ライブスキャンによるサンプルへの不必要なレーザー照射を回避できる有効なツールです。

画像統合ソフトウェアNIS-Elementsに搭載したNIS.aiは、畳み込みニューラルネットワーク (CNN) をベースとしたディープラーニングを活用し、共焦点データの取得、処理、解析をアシストする最先端のAI技術です。NIS.aiには、画像取得パラメーターの最適化、画像解析に適したシグナル／ノイズ比 (SNR) 画像の取得、デジタルステイン、セグメンテーションなどに活用できる多くのツールを搭載しています。



Denoise.ai

Denoise.aiは、共焦点イメージングの主なノイズ源であるショットノイズ成分を画像から除去して画質を向上させることで、その後のセグメンテーションを容易にします。励起レーザーの照射を抑え、フレームのアベレーシング回数を少なくすることができるため、高速性を生かした低退色イメージングが可能です。

Segment.ai

Segment.aiは、より快適な画像のセグメンテーションをアシストします。AIをトレーニングすることで、目的のオブジェクトを数秒で検出できます。画像解析ツールと組み合わせると、対象物のカウントや形態解析などの統計処理が行えます。

オプションアクセサリ



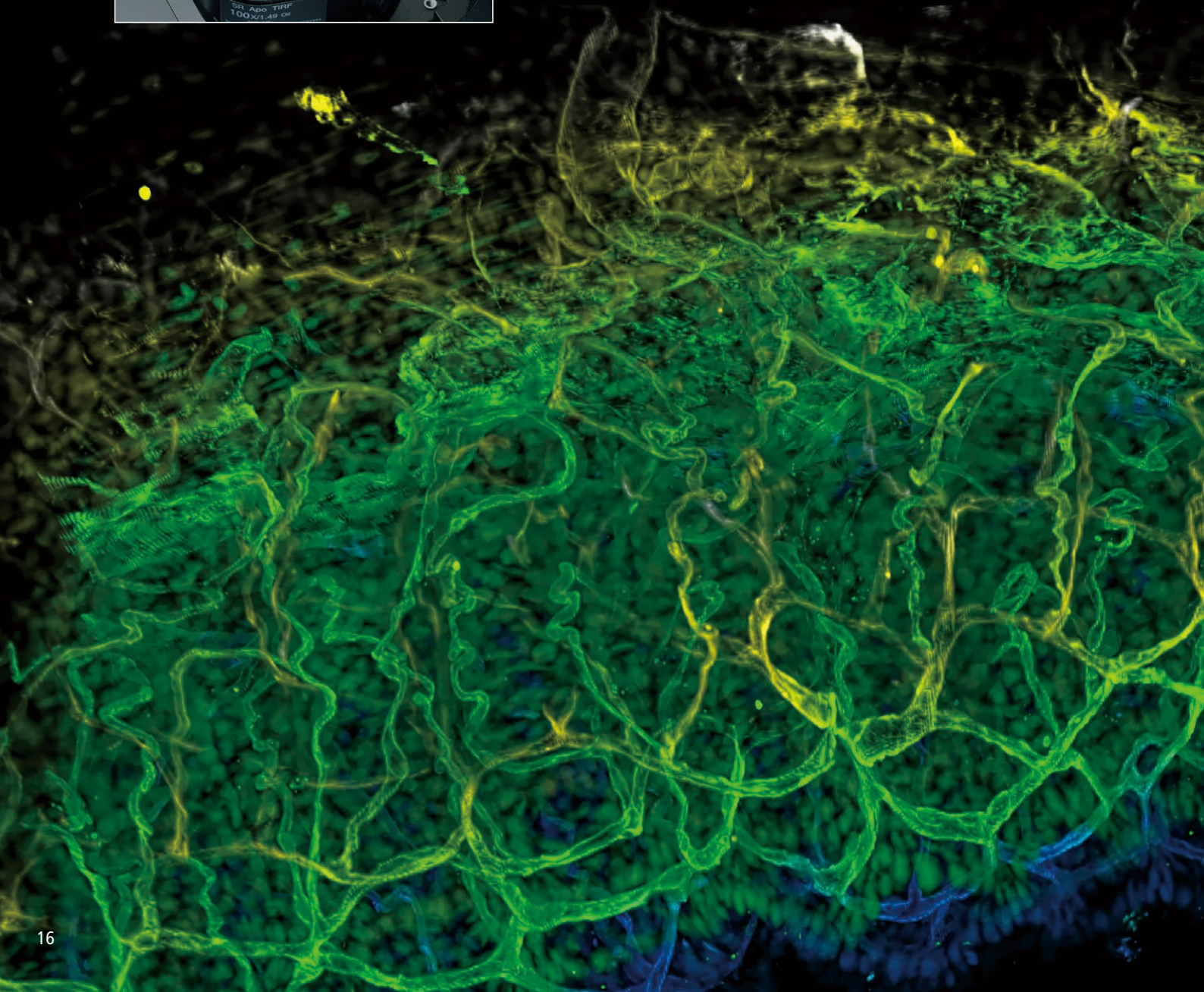
ウォーターイマージョンディスペンサー

環境チャンバー内においても、サンプルを動かすことなく水浸対物レンズ先端の浸液量を自動的に調整できるため、タイムラプス中の浸液の蒸発や過剰供給の心配がありません。



電動補正環

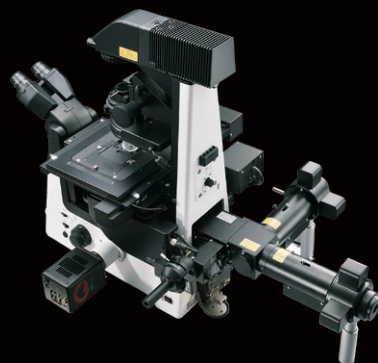
対物レンズの補正環を最適な位置に制御できるため、カバーガラス厚さの変化・温度の変化などに起因する収差を補正することができ、高解像度画像を取得できます。



多彩な光刺激・照明モジュール

Ti2-LAPPレーザーアプリケーションシステム

倒立顕微鏡Ti2-Eは、AX/AX Rと組み合わせて最大5つのTi2-LAPPモジュール照明システムが搭載可能です。TIRF (全反射蛍光) モジュールや光刺激モジュール、蛍光モジュールなどを組み合わせて一つの顕微鏡に同時に搭載し、同じイメージングに使用できます。



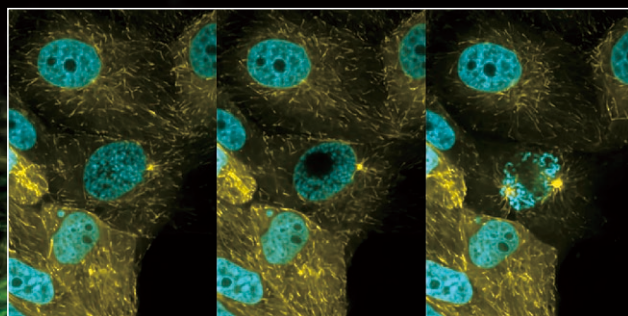
電動TIRFモジュール

電動TIRFモジュールは、レーザーの入射角度や沁み出し量を画像統合ソフトウェアNIS-Elementsから電動制御できます。複数台を搭載し、波長ごとに沁み出し量を設定することも可能です。



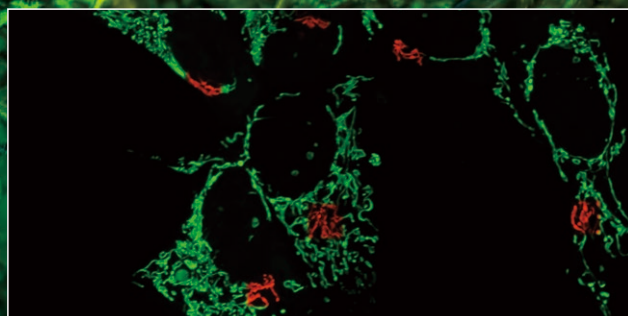
XYガルバノスキャンニングユニット

XYガルバノスキャンニングユニットは、サンプルの任意領域をレーザーによりポイントスキャンで刺激できます。光刺激と同時に共焦点イメージングが可能です。

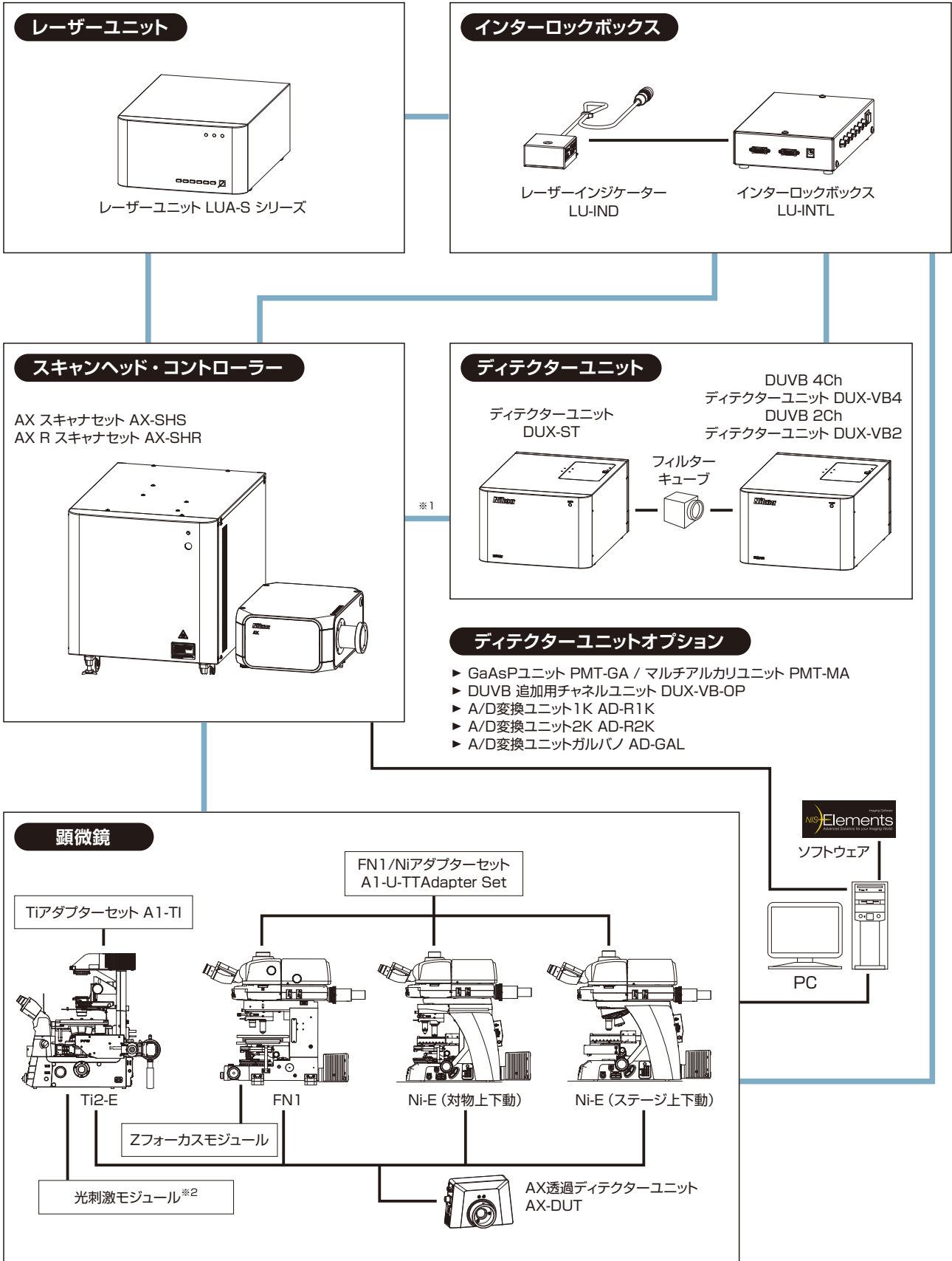


DMDモジュール

DMDモジュールは、スポット刺激ではなく任意の形状で光刺激が行えます。複数箇所を同時に刺激して変化を追跡することも可能です。光源はレーザーのほか生体サンプルに優しいLEDもご用意しています。



システムダイアグラム



※1 高効率蛍光電送技術を採用した光ファイバーを使用。

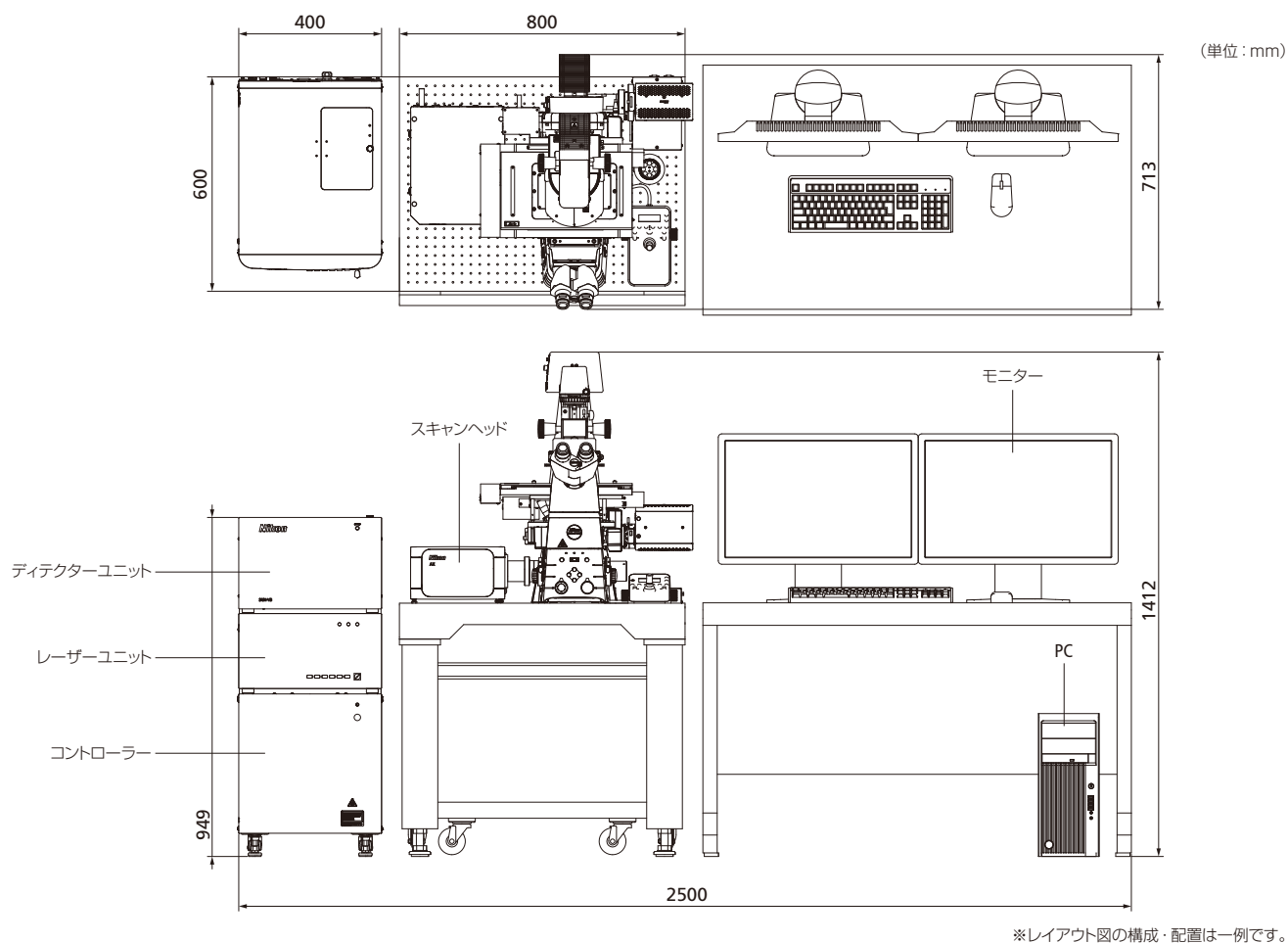
※2 Ti2-LAPPシステム用アダプターや光源、光刺激同時イメージング用ハイブリッドダイクロイックミラー、制御基板が必要です。

主な仕様

		AX	AX R
スキャンヘッド	FOV	Φ25 mm	
	標準画像取得	FOV 25 mm ガルバノスキャナー 最大 8192 x 8192 画素 最速毎秒 240 フレーム (512 x 16 画素) 毎秒 10 フレーム (512 x 512 画素) 最短2ミリ秒のピクセル滞留時間 ラインスキャン、双方向スキャン、アベレーシング (ラインおよびローリング) に対応	
	高速画像取得	—	FOV 25 mm レゾナントスキャナー (2Kまたは1K) 最大 2048 x 2048 画素 : 2K、最大 1024 x 1024 画素 : 1K 最速毎秒 720 フレーム (2048 x 16 画素 : 2K、1024 x 16 画素 : 1K) 毎秒 30 フレーム (2048 x 512 画素 : 2K、1024 x 512 画素 : 1K) ラインスキャン、双方向スキャン、アベレーシング (ラインおよびローリング) に対応 5チャンネル (透過ディテクターを含む) 同時観察可能 Denoise.ai機能を標準搭載
	ダイクロイックミラー	ポジション: 6	
	ピンホール	正六角形、連続可変	
	入出力ポート	標準 : レーザー入出力ポート 各1個 (FC ファイバーコネクション) オプションでレーザー入出力ポート 各1個を追加可能 (FC ファイバーコネクション)	
ディテクター	ディテクターユニット DUX-ST	2チャンネルまたは4チャンネル 最大18個のバンドパスフィルター マルチアルカリPMTまたはGaAsP PMTを選択可能	
	ディテクターユニット DUX-VB	2チャンネルまたは4チャンネル 波長可変型フィルターLVF (精度 : ± 1 nm、最大66チャンネル) 最大12個のバンドパスフィルター マルチアルカリPMTまたはGaAsP PMTを選択可能	
	透過ディテクター	AX透過ディテクターユニット AX-DUT PMT光電面 : マルチアルカリ、検出波長範囲 : 400~750 nm	
レーザー	最大8つの可視レーザー (オプションのレーザー入力ポート併用の場合) 対応波長範囲 : 405~750 nm 標準搭載可能レーザー : 405 nm、445 nm、488 nm、514 nm、561 nm、594 nm、640 nm ファイバー射出端 15 mW以上、AOTF内蔵		
対応顕微鏡	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究用倒立顕微鏡 ECLIPSE Ti2-E ・ 研究用正立顕微鏡 ECLIPSE Ni-E (ステージ上下動タイプ / 対物上下動タイプ) ・ 研究用対物上下動式正立顕微鏡 ECLIPSE FN1 		
Zステップ	Ti2-E: 0.01 μm/0.02 μm (エンコーダー制御時)、Ni-E: 0.025 μm、FN1 ステッピングモーター: 0.05 μm		
オプション	電動XYZ駆動	電動XYステージ (Ti2-E/Ni-E用)、高速Zステージ 100 μm (Ti2-E用)、高速対物ピエゾ 200 μm (Ni-E/FN1用)、高速対物ピエゾ 450 μm (Ni-E/FN1用)	
	光刺激モジュール (Ti2-E用)	<ul style="list-style-type: none"> ・ XYガルバノスキャニングユニット (光源 : レーザーユニット LUA-S シリーズ) ・ DMDモジュール (光源 : レーザーユニット LUD-H4) * 刺激形状 : ROI、ライン、ポイント 刺激方式 : シーケンシャル、同時	
ソフトウェア	画像取得・解析	画像統合ソフトウェア NIS-Elements C または NIS-Elements C-ER	
	表示・画像構築	2次元解析、3次元ボリュームレンダリング/オゾンゴナル、4次元解析、スペクトラルアンミックス	
	画像形式	ND2、TIFF、BMP、AVI、GIF、ICS/IDS、JPG、JP2、JFF、JTF、PNG	
	アプリケーション	FRAP、FLIP、FRET (オプション)、光刺激、3次元タイムラプス、マルチポイントタイムラプス、コロカライゼーション	
制御装置	ワークステーション	HP Z4 G4 Workstation	
	OS	Microsoft Windows® 10 Pro 64bit	
	CPU	Intel® Xeon W-2225X	
	RAM	64 GB	
	HDD	1st : HP Z Turbo 5 12GB SSD (OS インストール/画像取得用) 2nd : SATA 2TB HDD (データ保存用)	
	LAN	ギガビットイーサネット・インターフェイス × 1	10 ギガビットイーサネット・インターフェイス × 1
	グラフィック	NVIDIA Quadro RTX4000 以上	
	モニター	解像度 : 2560 x 1440 以上	
設置条件	温度 23 ± 5 °C、湿度 70 % RH 以下 (結露なきこと)		

* 2021年7月から使用可能

推奨配置図

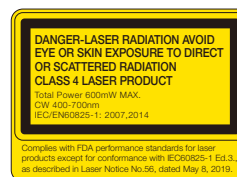
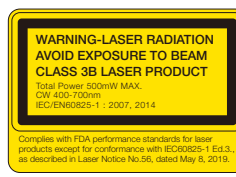


安全に関するご注意 ■ご使用前に「使用説明書」をよく読みの上、正しくお使いください。

ご注意：本カタログに掲載した製品及び製品の技術(ソフトウェアを含む)は、「外国為替及び外国貿易法」等に定める規制貨物等(技術を含む)に該当します。輸出する場合には政府許可取得等適正な手続きをお取りください。

・本カタログ記載の会社名及び商品名は各社の商標または登録商標です。
 ・本カタログは2021年4月現在のものです。仕様と製品は、製造者/販売者側がなんら債務を負うことなく予告なしに変更されます。

©2021 NIKON CORPORATION



株式会社 **ニコン**
 108-6290 東京都港区港南2-15-3 (品川インターシティ C棟)
<https://www.healthcare.nikon.com/ja/>

(株)ニコンは、
 環境マネジメントシステムISO14001の認証取得企業です。

株式会社 **ニコン ソリューションズ**

https://www.microscope.healthcare.nikon.com/ja_JP/

本社 140-0015 東京都品川区西大井1-6-3 (株)ニコン 大井ウエストビル3階

東京 (03) 3773-8138 大阪 (06) 6394-8801
 札幌 (011) 281-2535 京都 (075) 781-1170
 仙台 (022) 263-5855 岡山 (086) 801-5055
 名古屋 (052) 709-6851 福岡 (092) 558-3601
 金沢 (076) 233-2177



拠点一覧

製品お問い合わせ (フリーダイヤル) (0120) 586-617
 本社ショールーム (03) 3773-8138 (受付)
 大阪ショールーム、名古屋ショールーム

2CJ-SCNK-1 (2104-3.0) T